



2022年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 善教 TEL 03 (3593) 1728
 四半期報告書提出予定日 2022年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	6,429	1.8	300	0.0	674	40.8	422	41.7
2021年8月期第2四半期	6,314	1.5	300	△53.0	479	△37.8	297	△44.8

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 423百万円 (41.6%) 2021年8月期第2四半期 299百万円 (△41.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	55.12	—
2021年8月期第2四半期	38.90	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第2四半期	19,251	7,541	39.0
2021年8月期	18,528	7,215	38.8

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 7,512百万円 2021年8月期 7,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	—	—	13.00	13.00
2022年8月期	—	—	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,300	2.9	550	3.7	1,000	17.6	630	12.2	82.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期2Q	7,660,000株	2021年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2022年8月期2Q	480株	2021年8月期	448株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期2Q	7,659,535株	2021年8月期2Q	7,659,643株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス「オミクロン株」の出現により、まん延防止等重点措置が実施されるなど、段階的な経済活動再開による持ち直しの動きに足踏みがみられました。また、コンテナ不足やウクライナ危機による物流の混乱等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流業界においては、総合物流施策大綱(2021-2025)にも記載されているとおり「これまで進捗してこなかった物流のデジタル化や構造改革を加速度的に促進させる好機」となっています。「トラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するために必要な労働環境の整備」には、パレット輸送は必須であり、レンタルパレットを利用したパレットプールシステムへの関心は、2024年問題を2年後に控え、極めて高くなってきています。また、女性や高齢者を中心とした「新たな労働力の確保に向けた対策」として、当社アシストスーツへの関心も引き続き高いレベルを維持しています。

このような中、輸送用レンタルパレット需要は堅実に伸長し、新型コロナウイルス感染症に起因する生産調整等により在庫が減少した影響で落ち込んでいた保管用レンタルパレット需要は徐々に回復したものの、港湾地区での需要低迷は続き、レンタル売上は前年同期比で若干のプラス成長にとどまりました。一方、物流拠点投資は順調に推移し、販売売上は前年並みの売上を確保しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,429百万円（対前年同期比1.8%増加）、営業利益は300百万円（同0.0%増加）、経常利益は674百万円（同40.8%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は422百万円（同41.7%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（物流事業）

トラックドライバーの高齢化や深刻なドライバー不足は年々高まってきており、総合物流施策大綱(2021-2025)においても、労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）等が提言されていること、また2024年度にトラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用されることから、各企業の物流に対する問題意識は高まってきています。輸送用レンタルパレットにおいて、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収は、トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がることもあり、引続き取扱量が拡大しています。一方で未開拓の業界へのアプローチを進めているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の落ち込みもあり、新規の取組は伸び悩みました。保管用のレンタルパレットは、取引先の大口紛失の影響及び、引続きコンテナ不足の影響等もあり海外からの輸入減少等により在庫が減少した影響で、港湾地区を中心に一部で需要が減少している状況は続きました。海外事業は概ね順調に推移しました。医薬品輸送等で需要が拡大している「なんつい」が順調に伸長し、物流IoTは計画を下回ったものの前年同期比で2ケタのプラス成長となりました。新型コロナウイルス感染症によりアシストスーツではオンライン体験会等の開催を継続し拡販を図っています。また、SDGsの観点から労働環境の改善策として意識は高まっており、検討を継続してきた企業の本格導入は着実に進んでいます。

以上の結果、物流事業では、売上高5,975百万円（対前年同期比1.5%増加）、セグメント利益1,198百万円（同32.1%増加）となりました。

（コネクティッド事業）

ICTにおいてエレベーター、駐車場精算機の遠隔監視ソリューションについて、3Gから4Gシステムへの移行が順調に進行していることや、顧客の計画前倒しにより、機器販売数は増加し、増収となりました。カーシェアリングシステムについては、半導体不足の影響による顧客のカーシェアリング車両の納車遅延が続いており、車載器販売が予定台数を下回りました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高453百万円（対前年同期比6.2%増加）、セグメント損失63百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ790百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が681百万円増加したこと及び商品が65百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が51百万円増加した一方で、有形固定資産が134百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は19,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ722百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,074百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円増加したこと及び買掛金が209百万円増加した一方で、1年内返済予定の長期借入金が131百万円減少したことによるものであります。また固定負債は7,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が711百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は11,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ325百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ687百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には3,383百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,595百万円（前年同期は1,413百万円の収入）となりました。収入の主な要因としては減価償却費1,295百万円及び税金等調整前四半期純利益670百万円等、支出の主な要因としては未払又は未収消費税等の増減額170百万円、法人税等の支払額98百万円、及び棚卸資産の増加70百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は992百万円（前年同期は2,496百万円の支出）となりました。支出の主な要因としては有形固定資産の取得による支出892百万円及び無形固定資産の取得による支出92百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は57百万円（前年同期は116百万円の収入）となりました。収入の主な要因としては短期借入れによる収入1,000百万円、支出の主な要因としては長期借入金の返済による支出842百万円及び配当金の支払額99百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期の業績予想につきましては、最近の実績の動向を踏まえ、2021年10月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2022年8月期通期業績予想の修正について」をご覧ください。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,714,009	3,395,923
受取手形及び売掛金	1,621,687	1,625,498
電子記録債権	149,664	176,745
商品	467,293	532,702
原材料及び貯蔵品	15,451	18,559
その他	221,331	230,224
貸倒引当金	△2,564	△2,639
流動資産合計	5,186,873	5,977,014
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	9,603,852	9,550,080
その他（純額）	2,805,018	2,724,549
有形固定資産合計	12,408,871	12,274,630
無形固定資産	347,722	399,257
投資その他の資産		
その他	597,213	612,540
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	585,263	600,590
固定資産合計	13,341,857	13,274,478
資産合計	18,528,731	19,251,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,217,783	1,426,947
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,681,786	1,550,646
未払法人税等	85,553	253,672
賞与引当金	171,203	194,406
役員賞与引当金	—	19,193
その他	419,863	205,786
流動負債合計	3,576,189	4,650,652
固定負債		
長期借入金	6,954,360	6,242,842
役員退職慰労引当金	525,426	533,012
退職給付に係る負債	238,139	262,571
資産除去債務	15,533	15,625
その他	3,202	5,078
固定負債合計	7,736,662	7,059,129
負債合計	11,312,852	11,709,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	6,709,453	7,032,109
自己株式	△825	△923
株主資本合計	7,195,976	7,518,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,507	5,944
為替換算調整勘定	△11,553	△11,820
その他の包括利益累計額合計	△45	△5,876
非支配株主持分	19,947	29,052
純資産合計	7,215,878	7,541,710
負債純資産合計	18,528,731	19,251,492

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）
売上高	6,314,972	6,429,479
売上原価	4,272,175	4,393,138
売上総利益	2,042,796	2,036,341
販売費及び一般管理費	1,741,977	1,735,490
営業利益	300,819	300,851
営業外収益		
受取利息及び配当金	29	26
受取補償金	95,160	363,831
保険解約返戻金	75,057	—
その他	30,365	28,810
営業外収益合計	200,612	392,669
営業外費用		
支払利息	20,986	18,472
その他	1,080	63
営業外費用合計	22,066	18,535
経常利益	479,365	674,984
特別利益		
固定資産売却益	1	215
特別利益合計	1	215
特別損失		
固定資産除却損	7,670	1,233
ゴルフ会員権評価損	—	3,740
特別損失合計	7,670	4,973
税金等調整前四半期純利益	471,696	670,226
法人税、住民税及び事業税	120,702	266,917
法人税等調整額	53,014	△26,417
法人税等合計	173,716	240,500
四半期純利益	297,980	429,726
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	7,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,980	422,229

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）
四半期純利益	297,980	429,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,670	△5,562
為替換算調整勘定	△345	△267
その他の包括利益合計	1,324	△5,830
四半期包括利益	299,304	423,895
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,304	416,399
非支配株主に係る四半期包括利益	—	7,496

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	471,696	670,226
減価償却費	1,262,006	1,295,705
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△803	65
賞与引当金の増減額（△は減少）	△57,654	23,128
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	21,338	19,193
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	18,746	7,585
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,612	24,432
受取利息及び受取配当金	△29	△26
保険解約返戻金	△75,057	—
支払利息	20,986	18,472
固定資産売却損益（△は益）	△1	△215
固定資産除却損	7,670	1,233
ゴルフ会員権評価損	—	3,740
売上債権の増減額（△は増加）	77,025	△26,395
棚卸資産の増減額（△は増加）	△132,826	△70,377
仕入債務の増減額（△は減少）	79,608	△4,433
未払又は未収消費税等の増減額	53,239	△170,668
その他	2,520	△78,883
小計	1,758,080	1,712,782
利息及び配当金の受取額	46	84
利息の支払額	△21,056	△18,621
法人税等の支払額	△324,642	△98,934
法人税等の還付額	958	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,413,385	1,595,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,559,369	△892,518
有形固定資産の売却による収入	1	215
無形固定資産の取得による支出	△62,053	△92,411
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	4,020	6,760
定期預金の預入による支出	△10,404	△12,322
保険積立金の解約による収入	160,517	—
その他	△18,762	△2,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,496,049	△992,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△784,322	△842,658
自己株式の取得による支出	△105	△97
配当金の支払額	△99,343	△99,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	116,229	57,787
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,107	8,959
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△962,328	669,344
現金及び現金同等物の期首残高	3,658,116	2,714,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,695,788	3,383,354

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過措置に従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,887,856	427,116	6,314,972	—	6,314,972
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,887,856	427,116	6,314,972	—	6,314,972
セグメント利益又は 損失(△)	907,257	△8,956	898,301	△418,935	479,365

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△418,935千円には、セグメント間取引消去5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△418,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,975,896	453,583	6,429,479	—	6,429,479
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,975,896	453,583	6,429,479	—	6,429,479
セグメント利益又は 損失(△)	1,198,707	△63,591	1,135,116	△460,131	674,984

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△460,131千円には、セグメント間取引消去1千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△460,133千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。